

連絡先：自動車局審査・リコール課リコール監理室
 TEL：03-5253-8111 内線 42361
 アドレス：http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日：令和元年12月12日

リコール届出番号	4622	リコール開始日	令和元年12月13日	
届出者の氏名又は名称	本田技研工業株式会社 取締役社長 八郷 隆弘		問い合わせ先：お客様相談センター TEL 0120-112010	
不具合の部位（部品名）	①制動装置（電動パーキングブレーキアクチュエータ） ②制動装置（スプリングパッケージ）			
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	①電動パーキングブレーキにおいて、アクチュエータ内のモータ配線接続部の圧着端子の加締めが不十分、または、モータのコンミテータ及びブラシの製造が不適切なため、走行振動でモータ内の接触抵抗が一時的に増加するとモータ回路断線検知信号が乱れてVSAが異常を検知し、故障と判定することがある。そのため、警告灯、警告表示が点灯して、駐車ブレーキが作動しなくなる、または、駐車ブレーキが解除できなくなるおそれがある。 ②電動パーキングブレーキにおいて、ドラムブレーキシューの拡張、収縮を行うためのスプリングパッケージの作動ストローク設定が不適切なため、パーキングブレーキ解除時に当該スプリングパッケージがシュープレッダボディに干渉し、モータ負荷が高くなることがある。そのため、モータの電流値が閾値を超えてVSAが異常を検知し、警告灯、警告表示が点灯して駐車ブレーキが作動しなくなるおそれがある。			
改善措置の内容	①全車両、左右電動パーキングブレーキアセンブリを対策品と交換するとともに、VSAモジュレータのモータ回路断線検知プログラムを書き換える。 ②全車両、左右電動パーキングブレーキアセンブリを対策品と交換する。			
不具合件数	①302件 ②20件		事故の有無	無し
発見の動機	①②社内情報による。			
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者：ダイレクトメール等で通知する。 ・自動車分解整備事業者：日整連発行の機関誌に掲載する。 ・改善実施済車には、運転者席側ドア開口部のドアストライカー付近にNo.4622のステッカーを貼付する。 			

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
ホンダ	6BA-JH3	「N-WGN」	JH3-1000020～JH3-1007325	5,624	①②9,437
		「N-WGN Custom」	令和元年7月4日～令和元年8月30日		
			JH3-2000011～JH3-2002741	2,069	
	「N-WGN」	JH3-8000001～JH3-8000005	5		
	6BA-JH4	「N-WGN」	JH4-1000005～JH4-1001706	1,222	
		「N-WGN Custom」	令和元年7月4日～令和元年8月30日		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲 及び製作期間	リコール対象 車の台数	備考
ホンダ	6BA-JH4	「N-WGN」	JH4-2000015～JH4-2000765	516	①②9,437
		「N-WGN Custom」	令和元年7月4日～令和元年8月30日		
		「N-WGN」	JH4-8000003 令和元年8月7日	1	
	(計2型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 令和元年7月4日～令和元年8月30日	(計9,437台)	